

「愛・地球博」で得た経験を生かし、ボランティア文化の定着を

185日間の会期中、当初予想を大幅に上回る2200万人もが入场し、大成功のうちに終了した愛・地球博(3/25〜9/25)。ボランティアも予想の2倍近い2万7000人、延べ10万5000人が活動しました。このボランティアを組織する「愛・地球博ボランティアセンター」(顧問に小林素文学長)の経営企画委員長を務めた榎田教授にお話を聞きました。



愛知淑徳大学からは300人が参加

●淑徳大学からは何人ぐらいの学生がボランティアに参加しましたか。
 榎田教授 私の授業を通して参加



文化創造学部 榎田勝利教授

した文化創造学部の学生だけで200人、大学全体だと300人が参加したようです。学長にはボランティアセンター(ボラセン)のアドバイザーになつていただきましたし、ボラセンでは淑徳の卒業生が4人働いていました。淑徳パワーですね。実際、この地方でボランティアというと、淑徳大学というのは真っ先に名前が挙がるようになります。

●どういふ方がボランティアに参加したのでしょうか。
 榎田教授 ボラセン全体で取ったアンケート等では、大学生、専門学校生を始め、主婦や退職者、会社員など多岐にわたります。年齢層でいうと、60代、50代、20代の順に多く、47.2歳が平均年齢です。通常のボランティアは会期中5日間以上行うのですが、そのボランティアをまとめる500人のボランティアリーダーは、事前に10日間の研修を受け、会期中も20日間以上活動しました。元会社社長とか元教員とか、ボランティアスピリットのある方が多かったですね。ボランティアの良さは皆対等で上下関係がなく活動できる

ことです。このボランティアリーダーから学生たちはいい刺激を受けたと思います。世代を超えた交流ができたのは貴重な体験になったと思います。

万博を一過性のイベントに終わらせないために
 ●ボランティアを行う意義とは。
 榎田教授 最近では企業も社員にボランティアを勧めますが、社会貢献、国際貢献という面以外に、ボランティアは非日常的であるためエネルギーを与えられて、新しい自分を発見でき、新たな視点で仕事に打ち込めるようになるという特長があります。

学生もまったく同じで、非日常の場に自分を置くことで自己発見があり、判断力が増し、選択肢も増え、人を見る目も養われます。ボランティアは自分の人生を豊かにするための一手段ですね。特に万博は国際的なイベントで異文化体験もできただけに、インパクトが大きかったと思います。300人のボランティアに関心のある人は6割以上いますが、実際に活動している人は数パーセントに過ぎません。その間をコーディネートする人や装置がないからで、欧米のようにそこをつなぎマネジメントするプロを育成し、場を作る必要があります。淑徳大学の中にそういう場を作れたら、4年間でそういう人づくりは可能だと思います。大学のイメージも必ず上がるでしょう。

スタッフの声 VOICE

本学出身のボランティアセンタースタッフ



野村晃輔さん(2000年卒業)
 西ゲートボランティアセンターで、一日3交代のボランティアさんに支給するお弁当の用意や名簿出力など、ボランティアさんの受付全般の業務を行う受付チーフをしています。万博には多くの方が関わっていますが、一つのをゼロから作り上げていく大変さ、様々な部署や関係者との調整がいかに大切かを学びました。10月以降は、ここで得たことを生かせるようなボランティア関係の仕事に就きます。

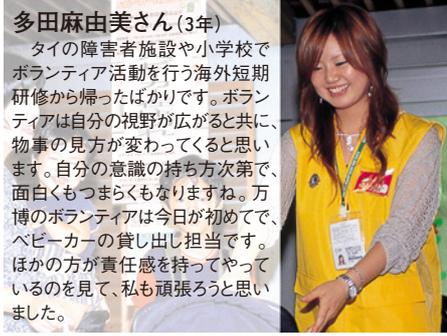


原あすかさん(2003年卒業)
 事務局からボランティアリーダーさんへの引き継ぎ事項を伝えたり、ボランティアさんが活動しやすいような状況を整える仕事をしています。世の中にはいろいろな人がいるということを実感し、いかにコミュニケーションを取るか、試行錯誤の連続でした。よく一生に一度できるような体験ができてよかったねと言われるのですが、自分でも多くの出会い、交流を得て、自分の可能性が広がったと思います。

文化創造学部文化創造学科多元文化専攻のボランティアスタッフ



吉田早織さん(4年)
 西ゲートから入場した方にマップを渡す担当です。今日が初日ですが、イベントなど細かいことを聞かれると答えられないので、今日自分だけでも事前に調べておけばよかったですね。ボランティアはいろんな世代の方と交流できるのが楽しく、充実しています。卒業後は損害保険会社に入社します。そこが持っているシアターで子供対象のイベントがあり、ボランティア活動ができそうなので楽しみです。



多田麻由美さん(3年)
 タイの障害者施設や小学校でボランティア活動を行う海外短期研修から帰ったばかりです。ボランティアは自分の視野が広がると共に、物事の見方が変わってくると思います。自分の意識の持ち方次第で、面白くもつまらなくなりますね。万博のボランティアは今日が初めてで、ペーパーの貸し出し担当です。ほかの方が責任感を持ってやっているのを見て、私も頑張ろうと思いました。



今井麻紀子さん(2年)
 会場を巡回して、声をかけてきた人に案内をしています。教えた時にお礼を言われるとすごく嬉しです。子供の頃から人を手助けすることが好きだったので、ボランティア活動に力を入れている淑徳大学を選びました。ボランティアは今日が最終日ですが、万博はすごく大きなイベントなので、参加できてよかったです。今後もチャンスがあればボランティアをしたいと思います。